

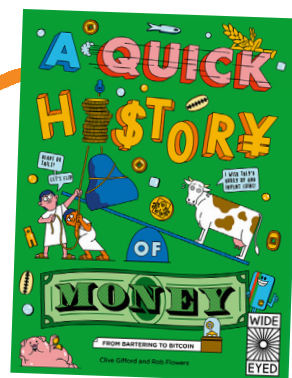


コミュニティを元気にする 家庭用ガイド

色でひろがるクリエイティブの世界



このガイドブックは、Crayola Creativity Weekの日替わりテーマ「コミュニティを元気にする」に向けて、**家庭用に作成**されています。思考シート「お金を賢く使うための言葉」と「お金のトラブル」の2つがついており、ダウンロードや印刷が可能です。お子さんに使ってもらってもいいですし、お子さんには何も書かれていない白紙の紙で作業してもらい、思考シートを自分用のガイドとして使っても構いません。どんな場合も、お子さんがさまざまな画材を使って取り組めるようにしてください。



子どもの頃から金銭感覚やお金にまつわる知識を身につけて、一生役に立つお金の知恵の基礎を築きましょう。創造的な体験とお金に関する知識を組み合わせることで、家族みんなが今だけでなくこれから先も、賢いお金の使い方ができるようになります。動画やマイケル・レイニー・Jrが朗読する絵本、アートのアクティビティを楽しみながら、お金に関するあれこれやお金のトラブルを防ぐ方法についてお子さんと話し、理解を深めてください。

学習目標 - 子供たちができるようになってほしいこと:

- お金に関する目標の設定、予算の計画、節約の方法、将来に向けた貯金、お金のトラブルを防ぐ方法など、お金に関する知識を身に付けるための方法を創造的に考える
- 「欲しいもの」と「必要なもの」の違いを明らかにして、お金に賢くなることがなぜ重要なのかを学び、「買い物探偵」のアクティビティを通してお金を大切に使う方法を見つける
- 収入、財産、支出、借金、節約など、お金に関する基本的な用語を理解する
- 賢いお金の使い方や、これからの暮らしに役立つ金銭感覚を身につける



「お金を賢く使うための言葉」の思考シートを使って、お子さんに、お金に関する言葉を説明した楽しいイラストを**描いてもらいます**。毎日の動画では、『A Quick History of Money』という絵本の読み聞かせがあり、子どもたちが気になるお金の言葉を調べたり、それを説明するスケッチを描いたりするきっかけになります。



お金は木になるわけでも、ATMの中で増えるわけでもありません。

- プリー S.



子どもたちが状況や行動、金銭感覚についてスケッチを**描きながら**、お金を賢く使うための言葉について話し合しましょう。お金についてのまじめな話題も、子どもたちが興味のあることに目を向ければ、年齢に関係なく楽しく身近に感じることができます。



子どもたちがスケッチを仕上げたら、どこに飾るかを尋ねます。例えば、食品ロスの削減や食料品価格の比較に関するアイデアを**描いたものなら**、冷蔵庫に貼るのがよいでしょう。節約や将来に向けた貯金などに関するものであれば、どこに飾っておくのがいいか相談します。



子どもたちが「お金を賢く使うための言葉」と、日常で自分や周りの人がどんな場面でお金の決断をするかを**結びつけて**考えられるようにサポートします。家族で買い物をするときや遊びを選ぶとき、持っている物を再利用するとき、将来について話すときなどに、お金を賢く使うための言葉を会話の中で使ってみましょう。こうした会話には、正解がひとつだけではなく、たくさんあることも伝えてください。「そうだね、そして…」と声をかけて、お子さんの考えを他の可能性につなげ、広い視野で柔軟に考えられるようにサポートしましょう。



お金の使い過ぎは破産につながる。

Quarto

A Quick History of Money
Published in 2021 by Wide Eyed Editions,
an imprint of The Quarto Group.
Text copyright ©2021 by Clive Gifford
Illustrations copyright ©2021 by Rob Flowers

MFS
Investment Management
MFS Investment Management®の
創造性へのご支援に感謝いたします。

Crayola Learning

色でひろがるクリエイティブの世界
家庭用ガイド

©2025 Crayola



コミュニティを元気にする 家庭用ガイド

色でひろがるクリエイティブの世界



「お金のトラブル」の思考シートを使って、子どもたちがお金の賢い使い方とお金のトラブルを防ぐ方法を**結びつけられるよう**サポートしましょう。どんな年齢の子どもも、「もしこうだったら？」といういろいろな場面を考えたり、お金が危険にさらされることについて探る「探偵ごっこ」を楽しめるアクティビティです。どのシナリオでも、賢い金銭感覚を持つことの重要性を強調しましょう。



お金の計画や貯金が危険にさらされるような場面を一つ選び、「お金のトラブル」でスケッチすることで、子供たちにそうした状況について**考えてもらいます**。「必要なもの」と「欲しいもの」の違いに注目したり、持っているものを再利用する方法を考えたり、値段を比べたりお買い得商品を探したりして買い物上手になる方法を考えたりするのもよいでしょう。お子さんがスケッチをしている間に、お金にまつわるあなた自身のうまくいった話や、困った経験などを話してあげてください。



賢い
「買い物探偵」



家族みんなで賢い「買い物探偵」になりきり、「欲しいもの」と「必要なもの」を正しく見分けたり、お金を賢く使ったりして、お金のトラブルを防いでいる自分の姿をスケッチに**描きましょう**。



「欲しいもの」と「必要なもの」を比べる



スケッチができあがったら、**発表して**説明しながら、お金を賢く使うための言葉や、お金のトラブルを防ぐ方法について話し合います。日常の暮らしの中で、これからはどんなものにどのようにお金を使っていくのか、家族で話し合ってください。



家族みんなで「コミュニティを元気にする」のアクティビティを終えたら、今回学んだことやお金に関する知識を身に付けることの大切さ、さらに気になるお金の話題について**振り返る**ようお子さんに促しましょう。

